

(8) 中国



中国地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

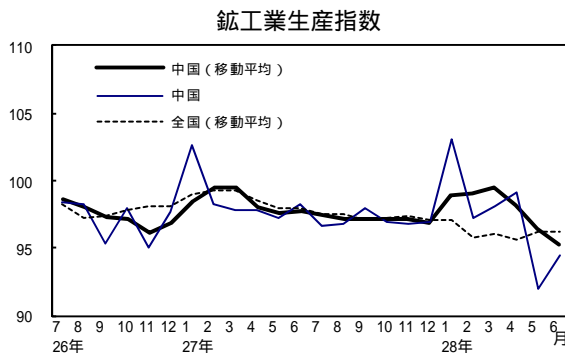
前回調査からの主要変更点

	前回(平成28年5月)	今回(平成28年8月)	
景況判断	緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	
鉱工業生産	おおむね横ばい	弱含み	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は弱含んでいる。

4～6月期には、輸送機械は、新型車効果の一巡や軽乗用車の工場停止等の影響があったことから減少した。化学は、工場の定期修理等から減少した。はん用・生産用・業務用機械は、出荷のタイミング等による前期からの反動減。鉄鋼は、市況の好不調はあるものの、需要は堅調で、おおむね横ばい。電子部品・デバイス、海外及び国内向けの車載部品が引き続き好調で増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1～3 月期	4～6 月期	4月	5月	6月
輸送機械	23.5	0.6	10.4	2.2	18.2	3.2
化学	16.4	0.1	3.5	4.4	4.2	5.6
はん用・生産用・業務用機械	11.2	8.0	10.6	8.4	6.8	8.6
鉄鋼	7.7	0.8	0.1	2.1	0.9	3.4
電子部品・デバイス	7.1	4.0	7.9	0.2	3.5	9.5
鉱工業	100.0	2.7	4.3	1.1	7.3	2.6

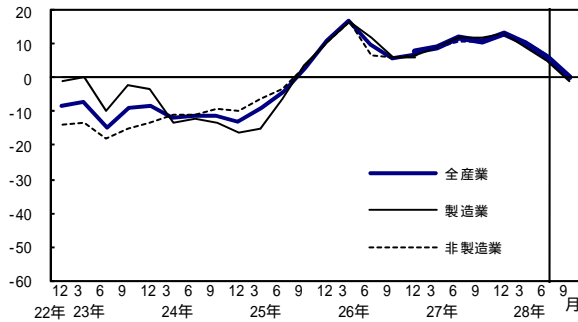
(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び中国の太線は後方3か月移動平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 4～6月期、6月は速報値。

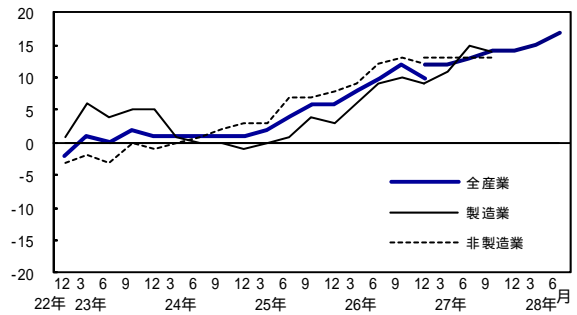
(2) 企業動向の業況判断は、「良い」超幅が縮小しており、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大している。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

(%ポイント) 企業短期経済観測 [業況判断]



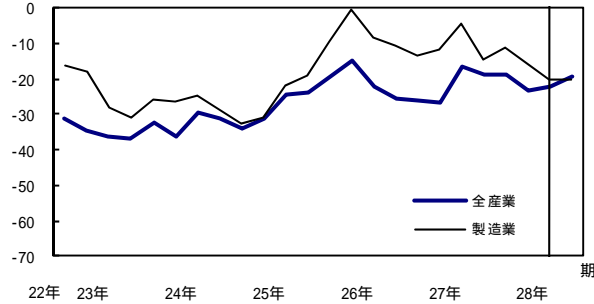
(%ポイント) 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年9月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



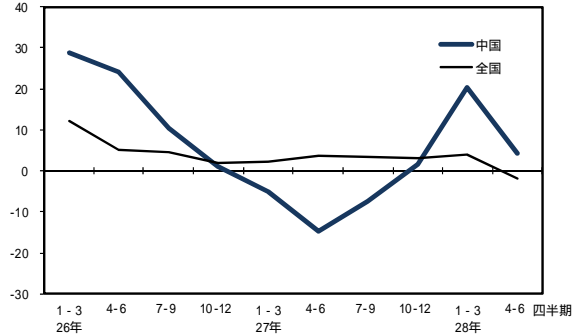
(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「夏の販売促進シーズンに入り、客先ではイベント等の準備が進行しており、受注量も増加傾向である(広告代理店)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は、増加している。

(%) 民間非居住用建設工事費(前年同期比)の推移



企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

(前年度比、%)

	27年度実績	28年度計画
全産業	5.7(1.6)	8.5
製造業	0.9(0.1)	15.6
非製造業	15.3(3.3)	0.3

(備考)()は前回(3月)調査比修正率。

(8) 中国

2. 需要の動向

(1) 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比0.4%増、5月は同0.9%減、6月は同2.1%増となった。

百貨店・スーパー販売額

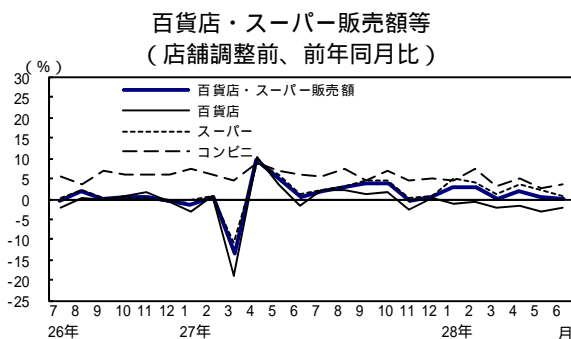
百貨店は、4月は、熊本地震などが消費マインドに影響し、衣料品ではスーツ、ジャケットなどが低迷したことから、前年同月を下回った。5月は、改装効果により飲食料品は好調であったが、紳士服、婦人服、ジャケットなどが苦戦し、前年を下回った。6月は、セール待ちによる買い控えや時計、宝飾品などの高額品の動きが鈍ったことから低調であった。一方、改装効果等により、飲食料品は好調であったが、全体としては前年を下回った。

スーパーは、紳士服、婦人服などの衣料品が低調であったものの、健康飲料、ベーカリーの販売は好調であったことから、前年同期を上回った。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果)[家計動向関連(現状)]

中国地域の家計動向関連DIは、45.8となり前月より4.2ポイント増加した。

「国内予約は依然低迷しているが、インバウンド予約が回復しているため少し上向いている(ゴルフ場)」など、「やや良くなっている」とする回答が増加した。

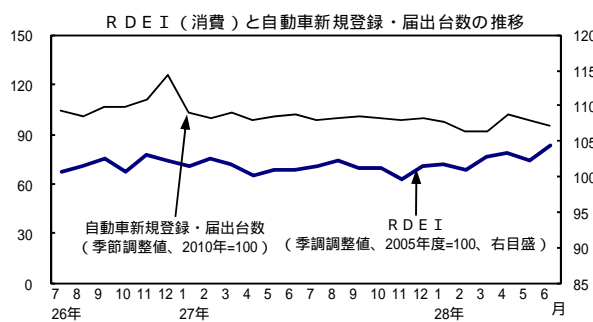


	28年4-6月	28年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.5	0.4	0.9	2.1
百貨店・スーパー(*2)	0.9	2.1	0.7	0.0
百貨店(*2)	2.3	1.6	3.0	2.3
スーパー(*2)	2.2	3.5	2.1	0.9
コンビニ(*2)	3.8	5.2	2.7	3.5
乗用車(*3)	2.5	2.1	0.9	7.0
(季節調整値)(*3)	4.8	11.4	3.3	3.8

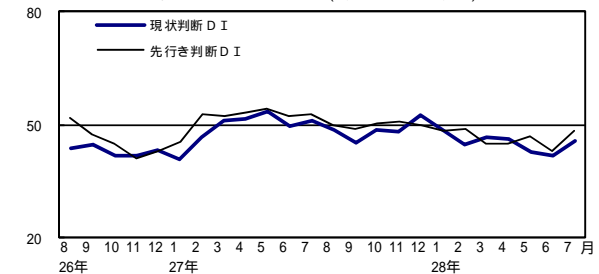
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



景気ウォッチャー調査(家計動向関連)



(2) 住宅建設は、増加している。

貸家が前年を上回ったことから、増加している。

(3) 公共投資は、28年度累計で見ると前年度を下回っている。

